



ホッジンズ氏



西本晃二氏

万物は人間のためにあり、人間は他ならぬ神をかたどって造られた存在であると。ホッジンズ カナダにはキリスト教の伝統がいろいろあります。支配的な影響力をもった宗教思想とはいえば、現実の信徒数とは一致しないんですが、プレスビテリアンとかプロテスタント的な考え方、つまり人間は労働によって救いを得るのだという考え方でしょうね。そして労働とは、カナダの場合、この荒涼とした国を有益な、別のものに変えることを意味したんです。そこで人々はヨーロッパ各地からやって来た。中でもプロテスタントは、この国にやってきた目的を、この未開の地を富を産む土地に作り変えるため、人間の運命の改善が可能な土地に作り変えるため、と思っていたんです。

西本 カナダではそうしたことがまだ可能なのかもしれない。ですが世界的に

見てどうでしょうか。たとえばエベレストはすでに踏破されている、アメリカの大西部は開拓し尽され、フロンティアは消滅している。そういう中で、先程おっしゃったような考え方は今後も意味をもつかどうか……。カナダの人は、一般的に言って、無限の可能性があったのは過去のことにすぎないということを、まだ感じ始めてないと思われるのですが、どうでしょうか。

ホッジンズ 確かにカナダにはまだまだたくさん土地がある。まだ誰も住みついてない土地がたくさんあるように見えるから、限界など一切ないようなふるまうことができるかもしれないと思います。国民の大半はアメリカとの国境に沿った限られた地域に住んでいる。だからそれが正しいか否かは別として、われわれには征服する余地のある土地がまだ何万、何十万平方マイルも残っていると考えられるのです。

西本 しかし作家はどうですか。現代文学の一般的傾向として、作家は外の世界と内なる世界との間に一種のバランスを打ち立てようとしていると思えます。

ホッジンズ カナダ文学は、やっとなの段階までたどりついたと言えます。カナダではつい最近まで、文学が単なる事物の紹介に終わっていたんです。カナダは何と言っても、書物に書かれたことのない真新しい国です。そこでは事物を紹介することが最初の仕事となります。風景を書き込み、林や森を描写し、湖や

都市を初めて本に登場させる仕事です。だが今日、作家達はもうその必要はないと思い始めています。カナダの風景はすでに紹介された。今度こそ文学の本当の仕事にとりかかることができる。つまり風景ではなく、人間を描くという仕事です。人間であるということとはどんなことなのか、もうわれわれは書くことができます。日本文学ではすでにこの面で立派な業績をあげている。

西本 その点からいうと、カナダ文学はある意味で非常に若い文学だと言えますね。だが他方で、われわれ日本人としては、カナダ文学のもつ可能性を養まざるを得ない。未知のものがあるという……。

ホッジンズ その通りですよ。カナダ文学は、現在わくわくするような時期を迎えています。とくに私にとつてはそうなので、私の住むバンクーバー島というのはこれまで文学には全く登場していません。とりわけ私の関心の深い小説（フィクション）の分野で全くの処女地といつていい。だから、私がたとえば一本の木を登場させるにしても、その木はこれまで世界中の物語に一度も登場したことのない木のことでつてよくあるわけですよ。私はアービュータスという木の林の中に住んでいるんですが、このアービュータスというのはバンクーバー島周辺二〇マイルの範囲にしか生えていない木です。変種は世界各地にもありますがね。でも非常に特殊な木なんです。というわけでアービュータスの木をただボンと書くだけ

では、私が何を言おうとしているのか読者にわかってもらえない。だから目下のところは、処女地を書くということは、私が自分一人の力で世界中の人にアービュータスの木が見えるようにしてやらなければならないわけで、大変エキサイティングなことだと思います。

西本 つまり創造ということですね。ホッジンズ 一つの創造です。もちろん危険なことです。私は時々バンクーバー島全体が私のために存在するのじゃないかという気がしてくるんですから。まるで私がその所有主みたいな感じですよ。

西本 他方でこういうことがいえませんか。もしホッジンズさんが作品の中でカナダを描いたとする。そうするとその作品はカナダ文学として立派に通用するわけですが、しかしそれだけでは十分でない、とあなたはお考えになる……。

ホッジンズ こういう風に言いましうか。まず最初に木や森や事物を語る。だがその次には人間を語る作業がこなければならぬ。それからこれは是非わかつてほしいんですが、カナダでは『カナダ小説』を書くことするのはとても無理なことです。カナダという国は非常に広大で多様な国ですから、そんなことをしようとすればまるでこつた煮になってしまふ。つまり、誰にとつても何の意味ももたない作品ということですよ。

このような難しい状況に対処する唯一の方法としては、次の方法をとる以外にないでしょうね。とり上げる地方のことをまずきちんと書き、それからその人